

Spring 2023

TAKE FREE

YIA Newsletter

公益財団法人 山梨県国際交流協会

World Charity Christmas

ワールドチャリティークリスマス



国際交流センター ありがとう!

World Charity Christmas FINAL

ワールド チャリティー クリスマス FINAL!



昨年12月17日(土)、3年ぶりに県立国際交流センターにて「ワールド チャリティー クリスマス」を開催しました。

県立国際交流センターは、県立男女共同参画推進センター「びゅあ総合」への移転(複合化)に伴い、令和5年3月末で閉館するため、今回のイベントは、甲府市飯田の県立国際交流センターで行う最後のイベントとなりました。

当日は、14の国と地域から、300人を超える方々にご参加いただき、さまざまな文化が集う、色彩豊かな「ワールド チャリティー クリスマス」となりました。

今回は、ウクライナの留学生ニーナ・ジージューラさんから、戦争の悲惨な状況、そして、戦禍においても希望を胸に、周囲の人々に感謝しながら山梨で生活している様子などをお話いただきました。1日も早く戦争が終わり、ウクライナの人々に平穏な日々が戻りますようにと、岩崎けんいちさんが歌った「イマジン」は、国や文化を超え、共に平和へ想いを寄せる私たち皆の願いが込められていました。

ワールドグルメ、クリスマスマーケットなど、出店いただいた皆さまからのご寄付や、抽選券の売上げによる収益金103,000円に、

当協会の「グローバル支援事業」の活動支援金を加えた145,700円を、ウクライナ国内の避難民や周辺国へ逃れた難民への支援のため、「特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AAR Japan)」へ寄付させていただきました。

ご参加いただいた皆さま、協賛企業や団体の皆さま、関係者・ボランティアの皆さま、ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

1990年12月にオープンした県立国際交流センターは、32年の長きに渡り、国際交流・国際協力、多文化共生の拠点として、さまざまな事業やイベントを通して、たくさんの県民・外国人住民、関係団体の皆さまにご利用いただきました。

皆さまには、国際交流センターを支えていただき心から感謝いたします。

移転後も、共に集い、学び、そして、戦争や国内外の災害などにより、困難な状況にある人々に思いを馳せることができる場がありますように、心から願っています。

多くの皆さまから寄せられた国際交流センターへのメッセージをご紹介します。



オヴィ・ウリスさん(リトアニア)、
まつもとときみお
松本公夫さん



北インドカレー「スーリヤ」
ロテラ ムケツさん(インド)



ほん
韓サラン
あんいんすく
安仁淑さん(韓国)



山梨県中国語・国際交流会
せん よだ うなしばら
孫さん、依田さん、漆原さん



シンガーソングライター
いわずさき
岩崎けんいちさん



留学生 トウアンさん、ズンさん、
リンさん、ヒエウさん(ベトナム)



フェアトレード雑貨「ハーモニー」
おりいかずお としこ
折居和夫さん、敏子さん



留学生 ポリナさん、ソフィアさん、
ニーナさん、ポリナさん(ウクライナ)



ひがさけいこ
樋笠恵子さん(韓国)



ブラジル料理「KIOSK」
いゆもも
岩本ルシアナさん



HIAIDA GROUP 江ロジャネットさん、
ヴェルティス ルイスさん(ペルー)



吉川ファビオ/さん、
せいこ
聖子さん(ブラジル)



FUJI「ドネルケバブ」
ジャラヒ ワリンさん(イラン)



ヤン プゼナさん(フランス)、
ステファノ ヴィエロさん(カナダ)



日中交流情報センター
さのさきこ
佐野竜久子さん



ヒップファミリークラブの皆さん



ラボ国際交流センター山梨の皆さん



国際交流員(CIR)ファン チさん(ベトナム)、
ゲエゴ ラモスさん(ブラジル)、
マジョ ルチアさん(カナダ)

Special Thanks

協賛いただいた団体・企業(順不同)

株式会社エフエム富士 山梨交通株式会社 ソンブレイユ アロマ 富士フィルムBI山梨株式会社 株式会社邦文堂 山梨管財株式会社
甲府住宅設備株式会社 富士急行株式会社 国際ソロプチミスト山梨 株式会社テレビ山梨 多文化共生を考える会 ハート51

国際交流センターは「日本語」と共にありました。

日本語講座

日本語ボランティア くぼた まさこ 窪田全子さん

国際交流センターでは、週2回（金曜日夜、日曜日午前）、通年で「日本語講座」を開講しています。過去5年平均すると、約22カ国の国と地域から、毎年延べ600人ほどの外国人住民の皆さんが勉強しています。

この「日本語講座」で30年という長きに渡り、講師をつとめていただいている窪田全子先生にお話を伺いました。

始めたきっかけは何ですか？

— 前任者から受け継ぐ形で1992年9月から、金曜日の夜、日本語を教えるはじめました。日本語教師の資格もないし、ノウハウもないけれど、困っている人がいるならと思い、ボランティアとして手探りで始めました。

国際交流協会が主催する「日本語指導者研修講座」などにも参加して教え方を勉強しました。

その当手を振り返って

— 始めた頃は入管法の改正から数年後でしたので、日系ブラジル人が多く、インド人やペルー人もいました。2003年からは国際交流協会の事業となり、2010年からは、初心者の学習時間を確保するために週2回担当するようになりました。

一番困った思い出は、言葉が全く通じず、しかも文字で伝えることができない（例えば、アルファベットがわからない）人たちに教える時でした。絵やイラストをたくさん使い、あとは身振り手振りで必死に伝えました。他の受講生が説明し、通訳をしてくれたこともありました。

そして、講座をとおして、受講生から世界の新しい情報を教えてもらったことは、とてもうれしいことでした。スカイプとかカーシェアとか、当時まだ日本では馴染みのなかったことを



知ったり、さまざまな文化に触れることができました。特に、食生活の面から、インドの「ジャイナ教」は、興味深かったです。

また、当時、私が勤務していた高校の国際交流の授業で、受講生に講師として参加してもらったことも懐かしい思い出です。

楽しく30年間続けられたのは、受講生や国際交流協会の支えがあったからであり、深く感謝し、お礼を申し上げます。

Thank you!

国際交流センターの日本語講座は、日本語を学ぶだけでなく、外国人同士のコミュニケーションの場でもあり、抱える悩みを窪田先生と共有する場でもありました。受講生の中には、帰国後、数年ぶりに国際交流センターを訪ね、窪田先生との再会を喜ぶ外国人の皆さんの姿もありました。

窪田先生、30年間、日本語講座をとおして、外国人住民の皆さんを支えていただき、本当にありがとうございました。

「山梨県国際交流協会・国際交流センターと30年の歴史を共にして」

山梨日本語ボランティアの会 (YNV) いなたに 会長 稲谷いく子さん

本会は在住外国人に日本語学習支援を行っている有志団体です。学習者が一定の場所に集まる日本語教室形式ではなく、学習者の要望に合わせて会員が1対1で対応しています。近年、会員数は35名前後、「コロナ」の影響で減っていた学習者も少しずつ回復してきました。

早いもので活動歴は30年余。県国際交流協会や県立国際交流センターの歴史とほぼ重なります。発足当初は協会事務局のお世話になっていましたが、10年目に独立。その後も、各種行事や学習者募集などでお力添えをいただきました。

センターは明るく使いやすい施設です。本会では、大会議室で総会を、小会議室で会員研修会を実施してきました。特に記憶に残っているのは、全館を借り切って開催した多文化の集い「日本語祭り」です。計5回開催、300名近い参加者を迎えた年もあり、

屋外では「ほうとう」を作って提供しました。ここ数年は「日本語能力試験N3講座」を担当しています。また、1階ロビーに設置された図書ロッカーは予算措置のおかげで日本語教育関係の書籍が年々充実、支援力向上に役立っています。

本会にとって活動の拠り所である協会（センター）は、今後とも多文化社会を推進していく拠点となるものと考えていたため、突然の閉館は残念でなりません。

2023年4月、新しい施設に移転後も現在以上のご活躍を祈念しています。本会も、今まで通りお力を借りながら、地道に日本語学習支援を続けていきます。



2020年9月研修会 テーマ：「日本語の変化—身近な言葉に敏感になろう—」
講師：松下和幸先生



村松さん 稲谷さん 井草さん

山梨日本語ボランティアの会

<https://ynv2019.wixsite.com/mysite>



まつおか りこ

松岡 瑠理子 (JICA企画調査員コロンビア事務所)

Hola! (「オラ!」スペイン語のあいさつ) 皆さん、こんにちは。甲斐市出身の松岡瑠理子です。

私は、大学生の時に、交換留学でテキサス滞在中にアメリカで同時多発テロ9.11を経験しました。その後、留学生仲間とテロの後にいろんな話をしながら、友だちがいれば、遠くの異国で起きていることを身近に感じられるようになるのではないかと考え、外国で生活してみたいと思うようになりました。

そこで、青年海外協力隊に興味を持ち、ポリビアで2年間ボランティア活動を経験しました。大学を卒業したばかりの私は、仕事の進め方もわからず、同僚のみなさんに支えられ、助けられながら、自分が成長させてもらったなど強く感じました。また、異国の地でことばや文化に戸惑う時もホームステイ先の家族、同僚、同期の隊員仲間に助けられ、2年間とても良い経験をさせてもらいました。活動は、学校菜園プロジェクト、植林プロジェクト、公衆トイレプロジェクトなどを行いました。

帰国後は、恩返しのつもりで、JICA山梨デスクとして、地元山梨で協力隊を目指す方

たちのお手伝いをしたり、ポリビアの経験談を山梨の方々にお話したり、活動を終えて帰国する協力隊の方たちの経験を社会還元するためのサポートをする仕事をしていました。その後は、企画調査員として、ドミニカ共和国、コスタリカ、ミクロネシアで協力隊の方々の生活、活動を現地でサポートする仕事をしてきました。現在は、南米コロンビアで、同じ仕事をしていますが、協力隊のみなさんが現地の方々と生き生きと仕事をしている姿をととても頼もしく感じながら、近くで応援させていただいています。

私も協力隊に参加する前は、ことばも文化もわからない外国で仕事することに、わくわくする一方で、本当に自分にできるかどうかと不安になることもありました。ただ、2年間の経験から感じたことは、生活にしても仕事にしても、周りの人々と協力していくのは、日本での生活や仕事とそれほど変わらないんだなということです。皆さんにも職種がたくさんある協力隊の世界をのぞいて、そして体験してみしてほしいと思います。

企画調査員 (ボランティア事業) とは



に感謝して、全力で活動していきたいと思えます。2年間、本当にありがとうございました!!
そして、これからもJICA山梨デスクをよろしくお願ひします。

إلى اللقاء إرارركار

(アラビア語で「またお会いしましょう」の意)

JICA山梨デスク 清水貴央



①ポリビア ホームステイ先のおばあちゃんと妹
②ドミニカ共和国でボランティアの着任式に配属先の方々
③コスタリカでのボランティア事業紹介の会議
④ミクロネシアで地方の県庁を訪問
⑤ミクロネシアでフラダンスを習いました
⑥ミクロネシアの海 ⑦コロンビアで配属先の方々とミーティング
⑧コロンビアの塩の鉱山の中にある教会で



JICA山梨デスク



JICA山梨デスク e-mail



JICA山梨デスク Facebook

2021年からJICA山梨デスクとして、県内の国際協力推進に努めてきましたが、2023年3月をもって退職します。4月からは、再びJICA海外協力隊として、ヨルダンのパレスチナ難民キャンプ内の小学校にて、体育授業の普及活動に取り組みます。

私自身、コロナの影響で緊急帰国をしてから2年経ちましたが、また再挑戦できること

県内唯一の職業紹介優良事業者です。
お仕事相談無料です。県内在住の外国の方、お気軽にご連絡ください!

LINE公式アカウントでも受付中 @398strhc

株式会社 アルビス
0120-053-052
409-3822 中央市下三條550 やまなし転職・就職ナビ

1903001(01)

ARBIS

アシストエンジニアリング

お仕事たくさんあります!
中国・インドネシア
ブラジル・ベトナム
の通訳います

(株)アシストエンジニアリング
山梨県中央市布施 2106-1
0120-713-809
https://www.assisteng.co.jp

VISAのことなら何でも相談ください

ビザ更新・外国人雇用・国際結婚・永住・帰化・技能実習生受入・有料人材紹介

特定技能登録支援機関

中巨摩郡昭和町清水新居 1666
TEL 055-233-0211

ビジネスサポート行政書士事務所

山梨県内外で「おしごと」を紹介します
とうろくは、いつでも簡単にできます
English, Portuguesも対応できます

Trend Co.,Ltd.
株式会社トレンド

中巨摩郡昭和町河東中島 1151-7
0120-972-061
http://www.trendco.biz
【派23-301642 23-ユ-301187】

TOTOリモデルクラブ会員 水廻りのリフォームおまかせください。

1969年設立
リフォーム実績 500件以上!

信頼と実績、まかせて安心!

甲府住宅設備株式会社

〒400-0047 甲府市徳行二丁目 10-40
☎ 055-228-8821(代)

リフォーム部門 薬水クラブ 0120-86-3246

あなたに合ったお仕事紹介します!
日本語が少し分かれば働けます。

株式会社ネクストエイジ ☎055-275-3216

がいくじんそうだん やまなし外国人相談センター Yamanashi Foreigner Consultation Centre

がいくじん みな
外国人の皆さんからの
さまざまな相談を受け付けています。
にほんご
日本語が
わからなくても大丈夫です。
やまなしけん
山梨県での
にちじょうせいかつ
日常生活の中で
し
知りたいことや
こま
困っていること
(ざいりゅうしかく
在留資格、
しごと
仕事、
いりよう
医療、
きょういく
教育など)に
ついて
ひつよう
必要な情報の提供や
せんもんそうだんまどぐち
専門相談窓口の紹介などを
しゅうかい
行います。
そうだん
相談は
むりよう
無料です。
ひみつ
秘密は
まも
守ります。



かようび
火曜日
どようび
から土曜日
9:00 ~ 16:00 (しゅくじつ
祝日を除く)
けんりつこくさいこうりゅう
県立国際交流センター 2F TEL 055-222-3390



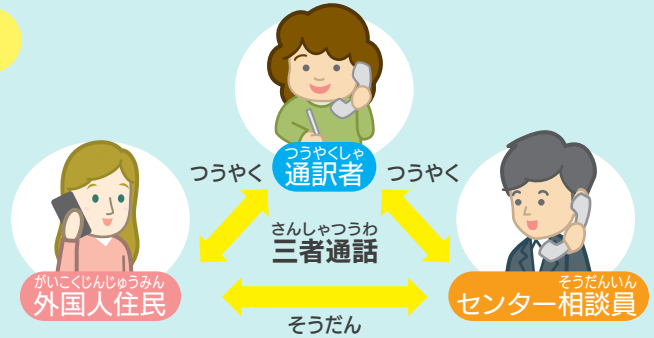
https://www.yia.or.jp/wordpress/?page_id=1905



- Português https://www.yia.or.jp/wordpress/?page_id=2003
- English https://www.yia.or.jp/wordpress/?page_id=2092
- Tiếng Việt https://www.yia.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2022/07/sodan_flyer_viet.pdf
- 中国語(簡体字) https://www.yia.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2022/08/sodan_chinese_k.pdf
- 中国語(繁体字) https://www.yia.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2022/08/sodan_chinese_h.pdf
- Tagalog https://www.yia.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2022/08/sodan_tagalog.pdf

でんわ つうやく 「電話通訳サービス(三者通話)」を知っていますか?

がいくじんそうだん
やまなし外国人相談センターに相談すると
がいくじんじゅうみん
外国人住民、
そうだんいん
センター相談員、
つうやくしゃ
通訳者が
さんしゃつうわ
三者通話機能で
どうじ
同時につながり
がいくじん
外国語で相談できます。
そうだん
相談は英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語
など16ヶ国語でできます。



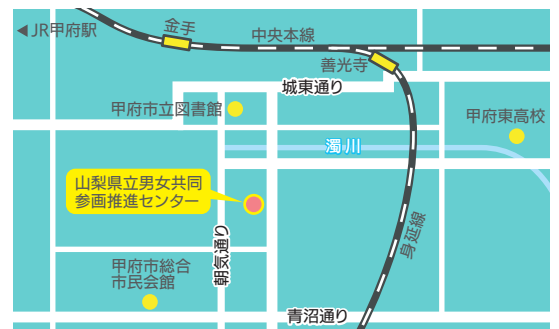
山梨県立国際交流センターは、県立男女共同参画推進センター(ぴゅあ総合)へ移転・複合化し、令和5年4月から、

「山梨県立国際交流・多文化共生センター」

と名称が変わります。

住所: 〒400-0862 甲府市朝気1-2-2

県立国際交流センター 休館 令和5年3月13日(月) ~ 3月31日(金)
閉館 令和5年3月31日(金)



編集後記 Editor's Note

飯田の国際交流センターで発行する機関紙も最後の春号となりました。多くの方々に支えられ紙面づくりができたことに、心から感謝しています。ありがとうございました。
センターは移転・複合化しますが、山梨県国際交流協会は、これからも日本人・外国人住民や関係団体、行政の皆さんと一緒に、よりよい共生社会の実現に向け、さまざまな事業に取り組んでまいります。引き続きどうぞよろしくお願いたします! 雨宮

YIA Newsletter 2023年 春号

編集/発行 公益財団法人 山梨県国際交流協会

〒400-0035 山梨県甲府市飯田2-2-3

TEL 055-228-5419 FAX 055-228-5473

URL www.yia.or.jp Email webmaster@yia.or.jp

<https://www.facebook.com/YamanashiInternationalAssociation>

